

【未来に向かう『心』】小郡市教育委員会から保護者・地域の皆様へ

小郡市では、「自律」「共想」「郷生」の3つのキーワードから、子どもたちの「未来に向かい未来を拓く」力を育てています。今回は、市内全小・中学校で実施した「小郡市生活アンケート」の結果の概要と、今後の取組についてお知らせします。

令和5年度「小郡市生活アンケート」の結果

「小郡市生活アンケート」とは、次のことについて、子どもが「よくできる」「まあできる」「あまりできない」「できない」の4つから選択する調査のことです。

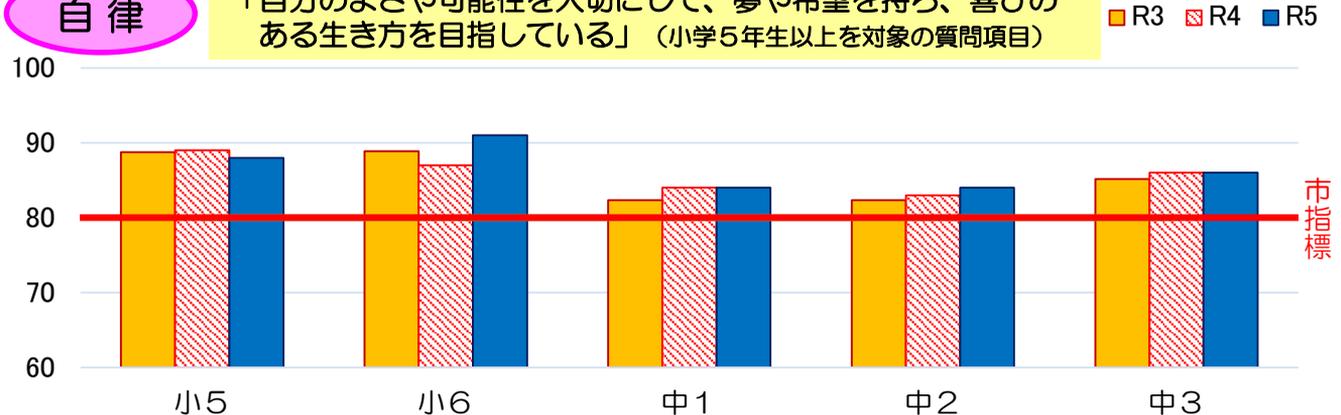
- 内容**
- 「正直、誠実」など、小・中学校で行われている道徳科の学習のねらいに関すること
 - 「学校生活が楽しい」などの規範意識に関すること
 - 「小郡市が好き」など、小郡市教育施策指標に関すること
 - 「学校や家庭で決めたルールを守っている」など、情報モラルに関すること
- 

伸びています、小郡市の子どもたちの心 ~肯定的回答が多い項目~

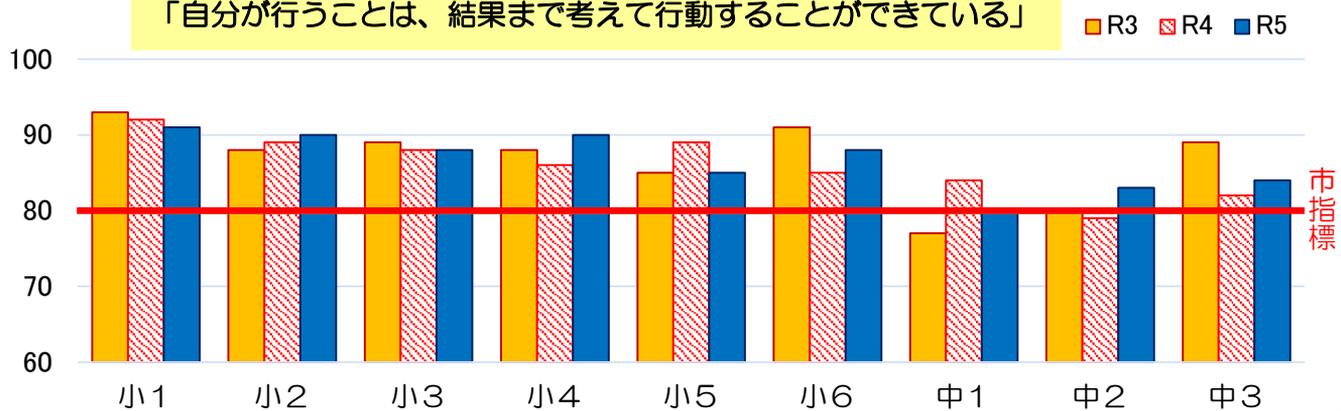
夢や希望に向かって粘り強く進もうとする「**自律**」、人とつながりあって心を働かせる「**共想**」、豊かな郷土をつくろうとする「**郷生**」の心が、以下のような項目で伸びています。このことは学校、家庭、地域による、子どもたちのよさを認める肯定的な関わりや、各校区の特徴やよさを生かした「ふるさとカリキュラム」の充実等の成果だと言えます。ご支援をありがとうございます。

自律

「自分のよさや可能性を大切に、夢や希望を持ち、喜びのある生き方を目指している」(小学5年生以上を対象の質問項目)

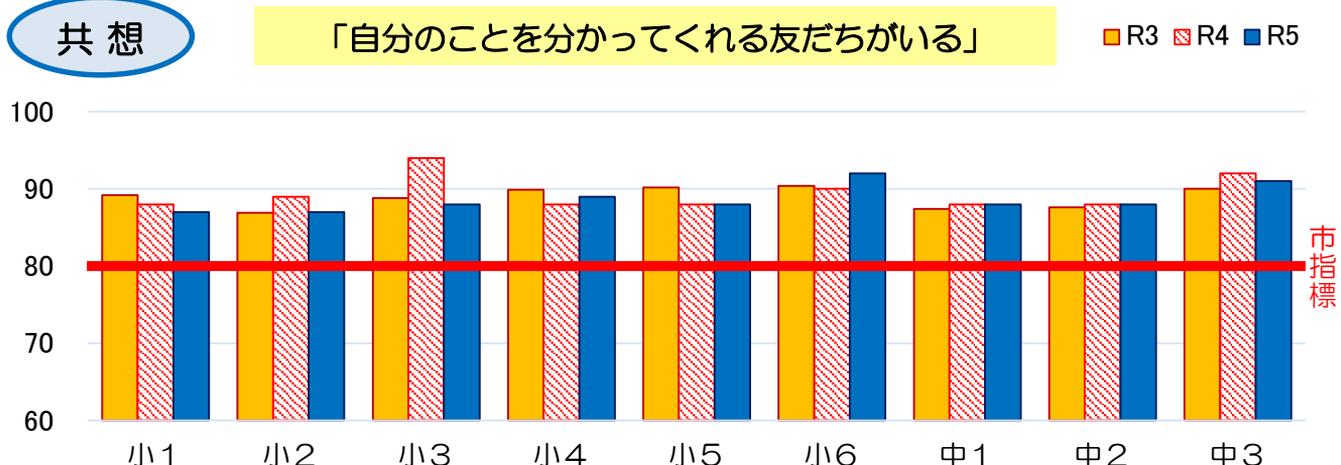


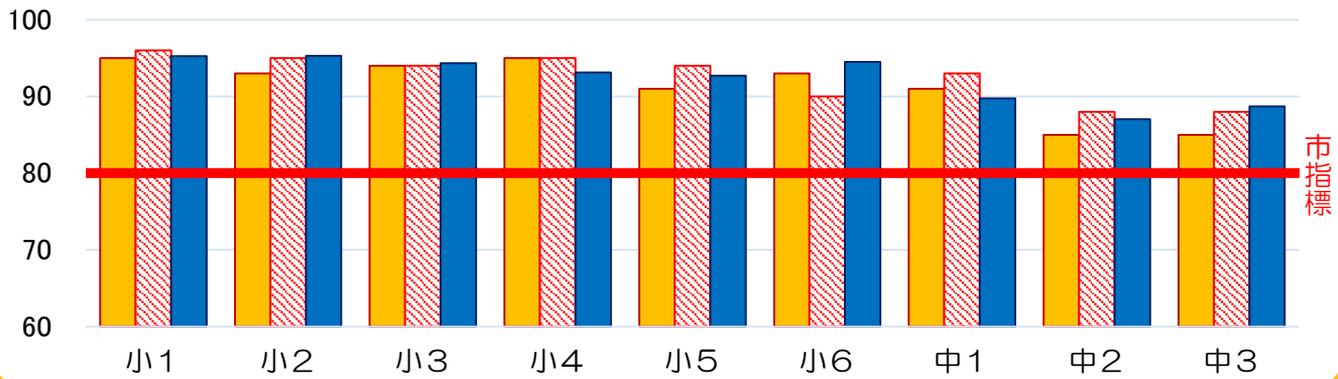
「自分が行うことは、結果まで考えて行動することができている」



共想

「自分のことを分かってくれる友だちがいる」

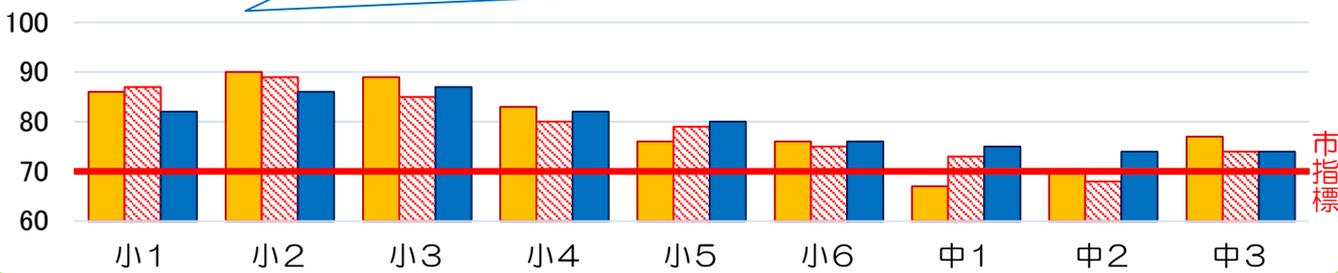




小郡市の子どもたちの心のこんなところをさらに伸ばします

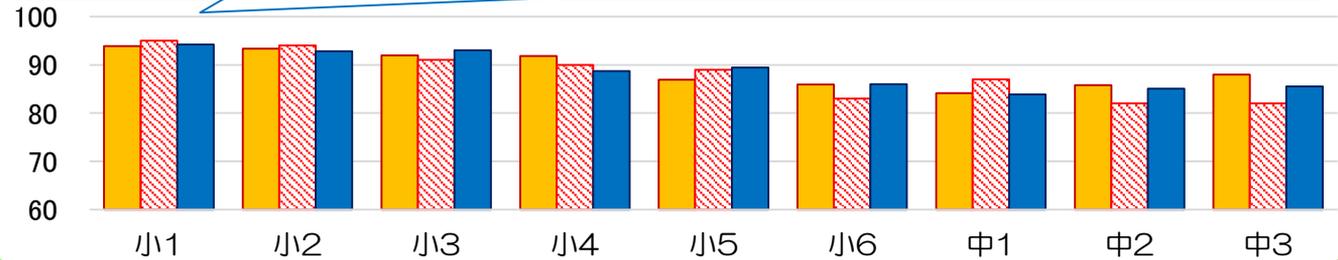
「自分のよいところを知って、そのよいところを伸ばすことができている」 R3 R4 R5

昨年度よりも伸びていますが、さらによさを伸ばし、自信や向上心を育ててまいります。



「タブレットやスマートフォン、インターネット等を使う際に、学校や家庭で決めたルールを守っている」 R3 R4 R5

「自分や相手を傷つけない使い方」に関する質問では、小・中全学年で肯定的な回答が9割を超えていますが、この質問の回答と照らし合わせると、情報機器を扱う際のルールを自分事として真剣に捉えていない可能性があります。情報機器を扱う際の危機管理意識を高めることが大切です。



小郡市の子どもたちの「未来に向かう心」をさらに伸ばすために、小郡市・学校・家庭・地域が共通理解のもとで、さらに連携・協働した取組となるようご協力をお願いします。

市の取組

～未来へ向かう「心」を育てるために～

- ☆道徳教育を推進する「市道徳教育協議会」の開催
- ☆学校運営協議会に子どもたちが主体的に参画するための各学校への助言・取組の交流の場の設定
- ☆学校・家庭が一体となった情報モラル教育の推進

学校の取組

～自己肯定感や規範意識の向上を図るために～

- ☆児童会や生徒会活動、学校運営協議会へ子どもたちが主体的に参画する機会の設定
- ☆自己管理の大切さを切実に理解するため、小・中9年間をつないだ情報モラルに関する指導の実施

ご家庭へのお願い

～自己管理能力や個性の伸長を図るために～

- ☆情報機器を使う際の家庭でのルールを子どもが自ら設定し、守るための見守りや声かけ
- ☆お子さんの豊かな心を家庭・学校以外の場でも育むような地域の行事への親子での参加

地域へのお願い

～豊かな心を地域でも積極的に育てるために～

- ☆祭りや清掃等の地域行事や地域防災訓練等への参加促しと、地域における子どもたちの貢献や活躍ができる場づくり
- ☆日常的な関わりにおける声かけや励まし、賞賛